

七転八起

2011.11月 株式会社富士飼料

復興へ！東北！！

先日、東京で畜産セミナーを受講しました。参加者数は300を超え、すそ野の広さを感じます。

農業関連では、第一次産業が10兆円の市場規模に対し、それが第六次産業まで進むと70兆円規模に拡大します。いかに加工→流通→販売を活かして収益を上げるかが課題です。

セミナー参加者の方々もこの70兆円の中の企業の方々で、いかに試行錯誤しているかが、垣間見えました。

当社も健全性を第一に掲げ、より良いサービス提供を心掛け、お客様へのお役立ちを考えてまいります。

株式会社富士飼料
代表取締役 小松浩義

「宮城県 10月の素牛市場情報」

雌 …340,469円 平均体重…284kg

去勢…408,690円 平均体重…311kg

去勢は前月比107% (27,382円UP！)

宮城、福島、岩手の枝肉相場は依然厳しい中、素牛価格が踏ん張っているのは、以下の要因があるかと思えます。

- ① 地元宮城の肥育農家の買付けが増えた
- ② 九州地方の素牛価格高騰で、他県の購買者が競りに入ってきている事。

また、年末から年始にかけて、宮城県の基幹種雄牛「茂洋」の出荷頭数が増えてくる事で、更なる集客が見込め、競りの状況も良くなると思われます。

(宮城県北担当：大崎流通センター 松浦卓也)

「食肉需給予測」

牛肉生産量：交雑種の出荷頭数の大幅減少などにより、11月は前年同月比5%減と予測。輸入量：11月は同19%減と予測。

出回り量：11月は同11%減と予測。出回り量予測については、放射性セシウム検出等による消費への影響を十分に反映していない為、その影響による下ブレが想定される。

牛肉需要低迷の中、一人当りの家計消費動向を見ると、全国で7月が前年同月比8.6%減、8月が同7.2%減となった。

一方、8月の牛肉以外の食肉について、全国で豚肉が同6.5%増、鶏肉が11.0%増となり、牛肉から豚肉や鶏肉に消費シフトしている事が伺える。

今後は、放射性セシウム問題による国産牛肉に対する買い控えも落ち着き、年末にかけて牛肉需要の増加が期待される。

(宮城県南「牛」担当：佐藤研治)

実習生紹介

当社は養護学校からの実習生を年1回受け入れております。お客様にご迷惑をお掛けする事もあろうかと存じますが、その際には何卒ご指導下さい。

【原田 航】

ハラダ ヲタル

平成6年生(17才) 【実習生】

- 宮城県立支援学校 岩沼高等学園 (旧養護学校) 在学
- 10/24~11/11の期間、職場実習しています！(2年連続で富士飼料に来ています)
- 人懐っこい性格で、仕事は丁寧で熱心です。
- 車(特に“働く車”)が大好きで、豊富な知識を持っています。
- たくさんのお客様にお会いしたり、新しい仕事を覚えるのが楽しいです。
- 将来に向けてとても良い経験をしています！よろしくお祈りします！！

